

第 5 章

保健予防業務関係

第5章 保健予防業務関係

1 感染症予防対策

感染症の届出等や施設等における集団発生時には、積極的疫学調査、保健指導等を実施し、感染症のまん延防止に努めた。定点医療機関からの報告により感染症の発生状況を収集し、管内市町医療機関等に情報を還元している。また、関係機関と感染症情報を共有し蔓延防止とスムーズな対応に向けて地域全体の感染症対策を推進する体制を整備している。

(1) 感染症対策会議

開催日	内容	参加団体
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず	

(2) 感染症の届出状況と積極的疫学調査

(令和2年1月1日～令和2年12月31日, 単位: 件)

感染症類型	届出件数	疾患名	疫学調査数	検査依頼数
二類感染症	3	結核 3	3	3
三類感染症	2	腸管性出血性大腸菌 2	2	5
四類感染症	15	つつが虫病 15	15	15
五類感染症	9	アメーバ赤痢 1 カルペペム耐性腸内細菌科細菌感染症 2 侵襲性肺炎球菌感染症 2 水痘(入院例) 1 百日咳 3	4	4
計	29		24	27

(3) 接触者健診の実施状況 (令和2年1月1日～令和2年12月31日)

※結核接触者健診については、当所の対象者・他所からの依頼対象者・他所への依頼対象者に分けて計上

感染症類型	初発患者の疾患件数 (=初発患者の人数)		疫学調査数	接触者健診 対象数	接触者健診 実施数
二類 感染症 (結核)	当所の 対象者	3	3	1	1
	他所からの 依頼	3	3	34	34
	他所への 依頼	1	1	4	4
三類 感染症	当所の 対象者	2	腸管出血性大腸菌感染症 2		
	他所からの 依頼	1	腸管出血性大腸菌感染症 1	4	4
計	10		10	43	43

(4) 感染症の集団発生の疫学調査・指導等

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

施設種別	件数	疾患名	患者数
小学校		ノロウイルス	
障害者支援施設		原因不明の呼吸器疾患	
老人福祉施室		ノロウイルス	
老人保健施設		ノロウイルス	
医療機関		インフルエンザ	
計	0	—	0

(5) 集団かぜ・インフルエンザによる学級閉鎖等状況

施設	令和2年度					令和元年度				
	施設数	施設 閉鎖	学年 閉鎖	学級 閉鎖	欠席者 数	施設数	施設 閉鎖	学年 閉鎖	学級 閉鎖	欠席者 数
幼稚園						1			1	7
小学校						10		1	12	114
中学校										
高等学校						1			1	11
計	0	0	0	0	0	12	0	1	14	132

2 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年2月1日に新型コロナウイルス感染症が「指定感染症」となり、地域医療機関と連携した支援体制の整備や発生状況の情報収集、保健指導等を実施し、まん延防止に努めた。

(1) 発生届数

(令和2年4月～令和3年3月)

感染症類型	届出件数	疾患名
指定感染症	302	新型コロナウイルス感染症

(2) 足柄上PCR検査場（開設者は足柄上医師会）

令和2年5月13日に、足柄上地域の帰国者接触者外来集合検査場として「足柄上PCR検査場」を開設。ドライブスルー方式のPCR検査を実施した。

(単位：人)

期間	計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検査数	549	26	26	79	131	88	27	23	51	82	12	4

(3) 管内市町からの職員派遣数

令和3年1月の感染拡大を受け、管内1市5町から保健師の派遣をいただいた（兼務扱い）。

時期	実人員数等
令和3年2月	10名 延べ17日
3月	4名 延べ5日

(4) 保健福祉事務所が主催した会議

(単位:人)

開催日	会議名、主な内容	参加者数
令和2年4月8日	新型コロナウイルス感染症患者等の受入れ等に係る会議 1 足柄上病院の重点医療機関の指定について 2 帰国者・接触者外来の取り扱いについて	医師会、管内6病院 8
令和2年4月14日	新型コロナウイルス感染症患者等の受入れ等に係る会議 ・新型コロナウイルス感染症の拡大を見据えた現場起点の医療体制「神奈川モデル」について ほか	管内1市5町 6
令和2年4月28日	新型コロナウイルス感染症緊急対策会議 ・帰国者・接触者外来の設置について	管内1市5町、警察、消防 8
令和2年5月26日	第1回検査場運営会議 ・足柄上PCR検査場の運営について	医師会、管内1市5町 9
令和2年7月21日	新型コロナウイルス感染症対策緊急会議 ・県立足柄上病院で発生した自動判定結果の誤りについて	関係医療機関等 9
令和2年7月31日	新型コロナウイルス感染症対策緊急会議 1 介護福祉施設等でクラスターが発生した場合を想定した足柄上地区の検体検査体制の整備について 2 令和2年度新型コロナウイルス感染症の足柄上地区における疑似症患者の状況	医師会、病院 5
令和2年11月18日	新型コロナウイルス感染症対策緊急会議 ・季節性インフルエンザ流行期の足柄上地区における新型コロナウイルス感染症の医療体制について	医師会、病院 6

(5) 県医療危機対策本部室が主催した会議への出席（オンライン会議含む）

会議種類	開催回数	備考
神奈川県感染症対策協議会	10	議題がコロナ関係のもの
神奈川モデル認定医療機関会議	4	オブザーバー参加
その他会議、説明会等	12	

3 結核予防対策

結核患者が適切に治療を継続できるように、訪問等で療養生活の支援を行うとともに積極的疫学調査や接触者健診を行い、感染拡大防止、接触者の不安の解消に努めた。また、医療機関と連携し、結核患者を早期発見し、治療中断者をなくすため結核医療従事者研修を開催した。

(1) 結核患者の状況

ア 結核登録患者数

(ア) 登録患者数年次推移

(各年12月31日現在, 単位: 人)

区 分	昭和58年	平成5年	平成15年	平成25年	平成30年	令和2年
結核登録患者数	176	129	51	2	34	26
活動性結核患者数	91	44	23	19	10	5

(イ) 性、年齢階級、受療状況、市町別登録患者数及び有病率

(令和2年12月31日現在, 単位: 人)

区 分	総 計	活動性結核									不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	(別掲) 潜在性結核		有病率 (人口10万対)	
		合 計	活動性肺結核						活 動 性 肺 外 結 核	治 療 中			経 過 観 察 中	活 動 性 結 核	喀 痰 塗 抹 陽 性	
			小 計	喀 痰 塗 抹 陽 性	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の	そ の 他	菌 陰 性								
平成30年	34	10	10	6	6		3	1		23		5	11	9.1	5.5	
令和元年	24	9	6	6	6				3	15		4	6	7.4	5.5	
令和2年	32	1							1	31			15	0.8		
男	16									16			9			
女	16	1							1	15			6			
0~4歳	1									1						
5~9歳													1			
10~14歳																
15~19歳	1									1						
20~29歳	4									4			1			
30~39歳	1									1			1			
40~49歳	2								1	1			3			
50~59歳	5									5			1			
60~69歳	2									2			5			
70歳以上	16									16			3			
受療別	入 院															
	在宅医療	1	1						1							
	経過観察	31								31			15			
	不 明															

区 分	総 計	活動性結核									不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	(別掲) 潜在性結核		有病率 (人口10万対)	
		合 計	活動性肺結核						活 動 性 肺 外 結 核	治 療 中			経 過 観 察 中	活 動 性 結 核	喀 痰 塗 抹 陽 性	
			計	喀痰塗抹陽性			結 核 菌 陽 性	そ の 他 の								菌 陰 性
		小 計	初 回 治 療	再 治 療												
市 町 別	南足柄市	15	1							1	14		6			
	中井町	5									5		3			
	大井町	1									1		1			
	松田町	3									3		1			
	山北町	5									5		1			
	開成町	3									3		3			

イ 結核新登録患者数

(ア) 新登録患者数年次推移

(令和2年1月1日～令和2年12月31日, 単位: 人)

区 分	昭和58年	平成5年	平成15年	平成25年	平成30年	令和2年
新登録結核患者数 (人)	23	29	19	9	14	5
足柄上センター 管内罹患率 (人口10万対)	22.5	26.4	17.3	8.2	12.7	4.5

※潜在性結核感染症は、新登録患者数には含まれていません。

(イ) 性、年齢階級、発見方法、市町別新登録患者数及び罹患率

(令和2年1月1日～令和2年12月31日, 単位: 人)

区 分	活 動 性 結 核									罹患率 (人口10万対)	
	総 計	活 動 性 肺 結 核							(別掲) 潜在性結核	活動性結核	喀痰塗抹陽性
		合 計	喀痰塗抹陽性			結核菌陽性 その他の	菌陰性 その他	肺外結核 活動性			
			計	初回治療	再治療						
平成30年	14	12	6	6		4	2	2	4	12.7	5.5
令和元年	8	6	6	6				2	4	7.4	5.5
令和2年	6	4	2	2				2	1	4.9	1.8
男	1	1	1	1					1		
女	3	1	1	1				2			
0～4歳											
5～9歳											
10～14歳											
15～19歳											
20～29歳											
30～39歳											
40～49歳	1							1	1		
50～59歳	1	1	1	1							
60～69歳											
70歳以上	2	1	1	1				1			
発見方法別	個別健康診断										
	定期健診										
	接触者健診								1		
	医療機関受診	4	2	2	2			2			
	その他										
市町別	南足柄市	3	2	2	2			1			
	中井町								1		
	大井町	1	1	1	1						
	松田町										
	山北町										
	開成町										

(ウ) 結核登録削除患者

(令和2年1月1日～令和2年12月31日, 単位: 人)

計	死 亡		観察不要	転出
	結核	結核外		
1	1	0	0	0

(2) 管理検診

結核患者の適正管理のために、管理検診を実施した。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位:人)

実施機関	受診数	受診結果	
		著変なし	変化あり
委託医療機関	0		

(3) 接触者健診

結核患者家族・接触者に対し、接触者健診を実施した。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位:人)

計(延)	委託医療機関	足柄上センター
		QFT検査
38(38)	0(0)	38(38)

(4) 感染症診査協議会 結核部会

結核患者の医療が適正か否かを協議するために、感染症診査協議会結核部会を小田原保健福祉事務所にて隔週で開催された。就業制限(18条)、入院勧告(20条)、公費負担(37条及び37条の2)について諮問した。

ア 諮問件数

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位:人)

	18条勧告 (就業制限)	20条勧告(入院)		37条 (延べ)	37条の2(一般医療)			
		新規	延長		合計	新規	継続	退院後の継続
諮問件数	1	1	2	3	18	4	14	0
医療内容合格	1	1	2	3	18	4	14	0
医療内容不合格								

イ 医療費公費負担診査件数

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位:人)

区分	計	37条 入院 医療	37条の2申請者の保険内訳						
			小計	被用者保険		国民保険		後期 高齢	生活 保護
				本人	家族	一般	退本		
公費負担承認	8	3	5	2		1		2	

(5) 結核患者家庭訪問、相談状況

主として新登録患者や活動性結核で治療放置の者、感染性で在宅療養中の者、療養上問題のある者等に対し、医師、保健師等による家庭訪問指導を実施した。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位:人)

	家庭訪問		相談	
	実人数	延人数	電話	来所
平成29年度	23	114	206	15
平成30年度	37	95	85	8
令和元年度	12	38	119	25
令和2年度	2	10	185	8

(6) 結核定期病状調査事業

病状の把握ができない結核登録者はいなかった。

(7) 服薬支援事業

県内の結核病床のある病院と保健福祉事務所の連携のもとで、治療中断者を早期に発見するとともに、治療継続困難者に対し適切な保健指導による服薬管理の徹底、多剤耐性結核発生予防や蔓延防止を図った結果、治療中断者はいなかった。

4 エイズ・性感染症予防対策

随時エイズ相談に対応し、感染の予防に努めた。(検査は平成25年度で終了)
正しい知識の普及啓発を図るためエイズ・性感染症予防に関するリーフレットを配布した。

(1) エイズ相談・検査

年 度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度
相 談	13	18	12	3	-	-	10	-	-	6
検 査	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-

(2) エイズ・性感染症予防対策事業

ア 青少年エイズ・性感染症予防講演会

(単位：人)

開 催 日	学 校 名	講 師	参加者数
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず	

イ エイズキャンペーン事業

(単位：枚)

開 催 日	会 場	配布数
令和2年 9月3日・4日	小田原保健福祉事務所足柄上センター 学生オリエンテーション	33
令和3年2月18日	山北町立山北中学校	65
令和3年2月19日	開成町立文命中学校	190

5 難病対策

(1) 指定難病医療援護

管内指定難病医療受給者

(2) 難病講演会

(単位：人)

開催日	対象疾患	テーマ	講師	参加者数
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず		

(3) 難病相談会

開催日	内容	講師	回数
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず		

(4) 難病リハビリ教室

(単位：人)

開催日	場所	対象疾患	内容	講師	参加者数
			新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず		

(5) 難病患者と家族のつどい

開催日	内容	講師	参加者数
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず		

(6) 訪問相談事業

令和2年度該当者なしで未実施。

(7) 難病特別対策推進事業

開催日	対象	テーマ	講師
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず	

(8) 在宅難病患者一時入院

医療依存度が高く、介護保険等での短期入所等のサービス利用が困難な在宅神経難病患者等を対象に、介護者の休養や介護困難時に対応するため、対象者からの利用申請の受付、申請者の状況調査等を行った。

(単位：人)

利用医療機関	申請件数	利用回数 (延数)	利用者数 (実数)
県立足柄上病院	1	1	1
箱根病院	5	5	1

(9) 家庭訪問・相談

ア 家庭訪問

(単位：人)

	神経系	膠原病	消化器系	循環器系	その他	計
実人数	2					2
延人数	4					4

イ 相談

(単位：人)

面接	電話	その他	計
102	377	21	500

(10) 難病対策地域協議会

関係機関が相互の連絡を図ることにより、地域における難病患者への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図っている。また、地域の実情に応じた体制整備について協議するために、平成29年度より小田原保健福祉事務所と協議会及び部会を開催している。

開催日	内 容	出席者数
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず	

6 肝臓疾患対策

(1) B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス検査 (令和2年4月～令和3年3月)

年代	計	10～19歳	20～29歳	30～39歳	60歳以上
B型	0				
C型	0				

(2) 肝炎治療医療費助成制度

(単位：人)

区分	申請者数
核酸アナログ治療(新規)	5
核酸アナログ治療(更新)	1
インターフェロンフリー治療	6
計	12

7 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、定期健康診断を実施した。また、医療援護の申請事務を行った。

(1) 被爆者健康手帳等所持状況

(令和3年3月末現在, 単位：人)

区分	計	被爆者健康手帳	健康診断受診者証	被爆者のこども受診者証
計	66	21	3	42
南足柄市	31	13	1	17
中井町	10	3		7
大井町	12	1	2	9
松田町	2	1		1
山北町	7	1		6
開成町	4	2		2

(2) 被爆者健康診断受診状況

(単位：人)

区分	計	被爆者	被爆者のこども	要精検者	要治療者
令和元年度	1		1		
令和2年度	2		2		

8 認知症疾患対策

認知症疾患に関する正しい知識の普及を図るとともに、認知症高齢者の方を介護する家族等を支援するため、患者・家族等に対し随時相談・定例相談を行った。

(1) 認知症疾患相談事業

ア 相談事業

(単位:件)

区分	開催回数	相談延件数	性別				年齢(実数)					相談内容						再掲 高齢者虐待等		
			実数		延数		50歳代以下	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上	疾患一般	問題行動	治療	看護介護	入院入所	サービス		介護保険	その他
			男性	女性	男性	女性														
随時		60	9	11	16	44		1	9	9		34	21	8	6	1		29		
定例	11	15	4	11	4	11		2	7	6		14	10	4	6		1	3		

イ 訪問指導事業(定例相談訪問分を除く)

(単位:件)

区分	男		女		計		年齢(実数)					
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 処遇困難事例検討事業

ア 研修会及び講演会

9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせ、合同庁舎1階エントランスホールにポスター掲示、認知症の理解を深めるためのリーフレットの配架を行った。

実施日	内容	講師	対象者	参加者
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず			

イ 認知症サポーター養成講座

実施日	内容	講師	対象者	参加者
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず			

ウ 事例検討会

実施日	講 師	対 象 者	参加者数
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず	

(3) 足柄上地区徘徊高齢者SOSネットワーク事業

認知症が原因で行方不明となる者を早期に発見・保護するため、足柄上地区認知症等行方不明SOSネットワーク事業及び運営委員会を実施した。

ア 市町別徘徊高齢者SOSネットワーク事前登録状況

(令和3年3月31日現在 単位：人)

計	南足柄市	中井町	大井町	松田町	山北町	開成町
76	33	5	5	12		21

イ ネットワーク実施状況

(単位：件)

県高齢福祉課からの当所への広域搜索協力依頼	件数(延べ)	発見・身元判明の有無 (延べ)
	50	39 発見

ウ 足柄上地区認知症等行方不明SOSネットワーク事業担当者会議

開催日	内 容	参加団体
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず	

(4) 足柄上地区認知症担当者会議

開催日	内 容	参加団体
	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず	

9 精神保健福祉

住民の精神保健に関する相談に応じ、また精神障害者とその家族等への医療、保健、福祉に関する支援を行うため、医師、福祉職、保健師による相談及び訪問指導を行うとともに、各種事業により地域における精神保健福祉対策の推進を図った。また、自殺予防対策の取り組みとして、市町と連携強化を図りながら、連絡会議により体制整備を推進した。

(1) 保健福祉事務所等精神保健福祉業務統計

ア 相談・訪問指導

精神的な不調による精神科医療機関への受診や、精神障害を抱えながらの地域生活や社会復帰等について、医師、福祉職、保健師が相談及び訪問指導を行った。

(ア) 把握区分

(単位：人)

区 分	実人員	うち新規	延人員
相 談	131	82	664
訪 問 指 導	22	0	48

(イ) 相談性別・年齢

(単位：人)

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	不明
実人員	57	69	5		8	15	19	31	24	7	7	4	16
延人員	296	363	5		30	32	107	281	139	14	18	10	33

(ウ) 訪問性別・年齢

(単位：人)

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	不明
実人員	13	9			1	2	3	7	7	1			1
延人員	28	20			1	2	9	21	12	2			1

(エ) 相談・訪問契機

(単位：人)

区 分	実人員	市 町 村	医療機関	家 族	本 人	そ の 他
相 談	131	19	8	32	19	53
訪 問	22	2	5			15

(オ) 相談種別

(単位：人)

区 分	延人員	治療の問題	生活の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相 談	664	221	128	5	88	222
訪 問	48	23	11		1	13

(カ) 診断名 (実人員)

(単位：人)

区分	計	器質性精神障害	アルコール使用による精神・行動の障害	アルコール以外の物質使用による障害	統合失調症・妄想性障害	気分(感情)障害	神経症性・ストレス関連障害	生理的障害等	成人のパーソナリティ及び行動障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	小児期・青年期の行動及び情緒の障害	てんかん	診断保留・特定不能	精神障害と認めず	未受診	不明
相談	131	2	1	2	29	13	9		4	2	5		1			23	40
訪問	22		1		9	1	1		3		1				1	3	2

(キ) 特定の問題群 (複数回答)

(単位：人)

区分	計	性格上の問題	児童虐待	家庭内暴力	DV	高齢者虐待	食生活上の問題	アディクション	障害者虐待	近隣苦情	該当なし
相談	668			42		16	1	35		38	536
訪問	48			2		2		1		1	42

(ク) 相談者 (複数回答)

(単位：人)

区分	計	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	880	127	231	188	126	208
訪問	119	41	21	26	9	22

(ケ) 担当者 (複数回答)

(単位：人)

区分	計	医師	福祉職	保健師	事務職	その他職員
相談	696	23	653	13	2	5
訪問	55	1	47	6		1

(2) 教育広報活動

ア 精神保健福祉知識の普及啓発

(ア) 精神保健福祉普及講演会

(単位：人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず		

(イ) 普及啓発週間等における普及啓発活動

啓発週間名	期間	内容
自殺予防週間	令和2年9月10日～9月16日	足柄上合同庁舎4階フロアでの集中掲示
精神保健福祉普及運動	新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず	
アルコール関連問題啓発週間	新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず	
自殺対策強化月間	令和3年3月14日～3月31日	

イ 自殺予防対策

自殺予防に資する専門的人材を育成する研修会を開催するとともに、こころの不調に気づき適切に対処するゲートキーパーを様々な層を対象に養成する研修会を例年開催しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。

(ア) 精神保健福祉担当者研修会

(単位：人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず		

(イ) ゲートキーパー研修会

(単位：人)

開催日	対象	内容	講師	参加者数
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず		

(3) 団体等支援

区分	支援回数	支援内容
		新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

(4) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察（法第27条）

精神保健福祉法に基づく警察官通報（法第23条）に対し、精神保健福祉センター兼務職員として平日における調査等を行った（休日・夜間の調査等は精神保健福祉センターが行った）。

（単位：件）

区 分	通 報	通報 取下げ	調 査	指 定 医 診 察 結 果				診察 不実施 (受療指 導等)
				要措置	不 要 措 置			
					入院	入院外 診療	医療 不要	
計	19		19	11	2	2		4
平 日	8		8	5	1	1		1
休日・夜間	11		11	6	1	1		3

イ 精神科病院実地指導・実地審査（法第38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

（単位：ヶ所）

所在地市町村	南足柄市
施 設 数	1

（イ）精神保健福祉法に基づく実地審査（入院患者の精神保健指定医による診察）

（単位：件）

施設数	審査 件数	審 査 結 果								
		措置入院			医療保護入院			任意入院		
		継続	移行	入院 不要	継続	移行	入院 不要	継続	移行	入院 不要
1	2				2					

ウ その他医療保護事務（管内病院からの届・報告の進達事務）

（単位：件）

区 分	管内の患者	管外の患者
計	168	227
医療保護入院者の入院届（法第33条第7項）	43	55
医療保護入院者の退院届（法第33条の2）	43	55
医療保護入院者の定期病状報告（法第38条の2第2項）	82	117
措置入院者の定期病状報告（法第38条の2）		

(5) 会議

精神保健福祉事業の円滑な推進を図るため、各種会議を開催した。

(単位：人)

会議名	開催日	内容	出席者数
地域精神保健福祉連絡協議会	令和3年 2月19日 ～3月5日 (書面開催)	1 報告事項 (1) 足柄上地域の精神保健福祉の概況について ア 基本情報 イ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ウ 措置入院者等退院後支援 エ 自殺対策 オ その他(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う精神保健福祉対策) (2) 部会報告 2 協議事項 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築における今後の取組みについて	28
精神保健福祉担当者会議	令和2年 9月30日 (オンライン開催)	1 各機関の令和2年度の取組み状況について 2 措置入院者等退院後支援の実施状況について 3 自殺対策の取組み状況について	13
精神障害者地域移行推進会議	令和3年 2月2日 ～2月12日 (書面開催)	1 令和2年度精神障害者地域包括ケアシステム構築推進事業について 2 足柄上地区における今後の取組みについて	27
精神障害者地域包括ケアシステム構築推進コアチーム	令和2年 11月25日 (オンライン開催)	1 令和2年度精神障害者地域包括ケアシステム構築推進事業について 2 長期入院者の把握及び個別支援について	6